

保護者の皆様

可部 つちくれの家
平成28年7月4日
施設長 米田香代子

施 設 だ よ り 7 月

つちくれは、昨年より「平和教育」に取り組んでいます。昨年の取り組みを覚えておられますか？

仲間には「マーガレットコンサート参加」「♪青い空はの歌」「カンボジアの地雷の話」「原爆の子の像と千羽鶴

の由来=佐々木禎子さんの話」などの取り組みをしました。

そして、仲間と共に保護者の皆様方にも『千羽鶴献納への折り鶴作り』へご協力いただきましたね。

今年も「平和教育」への取り組みを続けていきたいと思えます。

この5月27日の夕方、オバマ大統領が広島を訪問しました。原爆投下国であるアメリカ大統領として初めての価値ある訪問でした。

彼はまず、広島の「平和のシンボル」の一つである平和公園内の資料記念館を見学し、『共に平和を広め、核兵器

のない世界を追求する勇気を持ちましょう』と記帳し、自分で折ったと言うサプライズの4羽の折り鶴の内、2

羽を記帳台に添えました。次に、原爆死没者慰霊碑へ献花。そして、大統領が招待した被爆者たちの前で、『罪

なき人たちが犠牲になってきた戦争の悲惨さ』、『1945年8月6日の記憶を薄れさせてはならない』、『全ての人類

は平等に創造され、生命、自由、幸福を追求する権利が与えられている』、『広島の子どもたちが今平和に日々

を送っていることが価値あること。それを守り、全ての子どもたちに広げていくことに価値がある』などと訴え、

自分自身は、外交を通して「核なき世界」に向けて取り組む決意を強調した演説をおこないました。

また、被爆死した12名の米軍捕虜の研究や遺族との交流を今も持ち続けている森重昭さんとの抱擁の映像は、

様々な思いを抱く日本国民とアメリカ国民に何らかの感動を与えましたね。

サプライズの4羽の折り鶴は、エレノア・コア著の『サダコと千羽鶴』を読み、佐々木禎子さんの「思い」と「折

り鶴」に関心を持ち、大統領自ら『核なき世界』を願って折った鶴だったそうです。

つちくれでも、千羽鶴作りを通して、オバマ大統領の訪問の意義や命の尊さを知り、そして私たちが「当た

り前に暮らせる」生活こそが「平和の源・基本」であることを意識できるよう取り組みたいと考えています。

そして71回目の記念日を迎える8月6日迄には、つちくれとして再び千羽鶴を献納したいと思っております。

保護者の皆様方にも昨年同様「折り鶴作り」にご協力いただくようお願いいたします。

が昼食後の散歩のとき、つちくれの周りを見渡すと「小さな秋」がいっぱい感じられるようになりました。

色づき始めた木々の葉、何本も立っているカキの木には赤く熟し始めた実が点在しています。私たちの肌をかすめていく風や空気も、何となくひんやりと心地よく感じられるのです。季節の変化を目や耳そして肌などまさしく五感を通して感じ取れる今日この頃です。

さて今月は、28日に総合福祉センターで行われた、『まあ来てみんな文化祭～広島土砂災害について考えよう～』のキョウサレン仲間部会の取り組み過程や当日発表での素敵な仲間の姿を幾つか紹介したいと思います。

3年ぶりの文化祭ということで、7月から取り組みをスタートしたのですが、職場代表には、立候補者の中から石橋さん・小寺さん・松浦さんの3名が決まりました。彼ら3名は合計5回の各作業所代表者会議へ参加し、つちくれの仲間と会議の橋渡しをしたり、文化祭のテーマとして「まあ来てみんな文化祭」を選択し決定しました。

副題「広島土砂災害について考えよう」の文言は松浦さんの提案で、当日横断幕に高々と掲げられていました。

そして、副題の中身を考える中で、亡くなられた75名の方々に「黙とうをささげよう」と石橋さんから出され、

開会式で参加者全員による黙とうが行われたのです。

各作業所の仲間達は『自分たちが今している仕事をクイズ形式で紹介しよう』と、これまた互いに創意工夫をして前準備を積み重ねていきました。

つちくれでは、さくらが「ダイヤルはラジオの部品かどうか?」、のぞみは今年の祭りで初めて自分達自身で材料の仕入れ、調理、販売した「カレーにはニンジンが入っていたかどうか?」、米工房はメロンパンのパズル式パネルを使って「米粉を使って作ったこの人気商品のパンはなに?」、そしていきいきは日中活動で楽しんでいる絵本“おおきなかぶ”のペープサートを一人ひとりが登場人物や動物の役を担い、ナレーターの幸田さんのコトバに合わせて動かし発表しました。いきいきメンバーの一人、島村さんは「おおきなかぶ」そのものになり♪カブを引っ張るおじいさん〜♪の後半「♪それでもカブは抜けません♪」を歌い、しかも最後にメンバー

紹介をされた時、「僕を忘れたらだめですよ」と発言し、会場の大喝采を受けました。